

2023年6月1日発行

# 鵬 鷲

HOSAI

「鵬」鵬は翼の巾3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬(おとり)が飛ぶ(=はるかなかなたの)空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一歩一歩目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。



八代経済開発同友会  
(通巻第138号)

<http://www.goroyoka-yatsushiro.com>  
E-mail: [jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com](mailto:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com)



八代経済開発同友会 令和4年度 スローガン

まずは、議論から始めよう

そして、想定外の未来を想像しよう

～一年を振り返って～

八代経済開発同友会 第59代 代表幹事

村田眞一郎

今年度1年間代表幹事を仰せつかり、「まずは、議論から始めよう そして、想定外の未来を創造しよう」のスローガンのもと活動をしてきました。コロナ禍からまだ完全に抜け出せないながらも、徐々に会活動も正常に戻りつつありました。コロナ禍やウクライナ戦争の影響が色濃く残り、先行きが不透明の中、逆にこれまで見えにくかった、目を背けていたかもしれない様々な課題が、より鮮明に個人に自覚されたように思います。これまでとは違う考え方や行動が求められていると感じつつ、まずは、その認識と共有し、行動に結びつけるために各々で落とし込む必要があると考えました。果たして、議論から始めて、想定外の未来が描けたでしょうか？

八代・天草シーライン建設促進委員会は、数年間活動が制限される中、また協議会発足後の民間期成会の活動内容を再検討する時期でもありました。本年度は、これまでの活動を続けつつも、新たなつながりや関係を築くことができました。今後は、さらに広域に広がりのあるうねりへ変えることができると確信しました。

八代魅力発信委員会は、八代の魅力を再認識し、それをいかに人流や地域の活性化へ結びつけるかを検討しました。これまで、八代の地理的優位性や、インフラ、文化や自然など我々が当たり前と思っているものが、実は他地域へ優位性を持つ武器であること、また、八代市の行政サービスをはじめ、各団体が素晴らしい活動をされていて、それをもっと訴求することで、素晴らしい八代の未来像が描けることができると実感しました。

協働組織活性化委員会では、八代経済開発同友会の会員企業同士のビジネス上でのつながりを模索しました。一朝一夕ではできませんが、今後の経営環境の変化やSDGsの観点でも必須のテーマでもあり、常に会員間の事業の繋がりを意識したイノベーションを起こす土壌となるきっかけになったのではと思います。

テクノロジートレンド委員会では、最先端のテクノロジーを入り口として、想定外の未来を少しでも想像する機会が得られました。今では当たり前の事が、10年前は夢のような話で笑っていたという事を知ることで、10年先の未来に立脚した発想こそが想定外の未来を想像する事だと実感した活動でした。

次世代の未来をつくる委員会では、世代をこえた交流を実現し、次世代の可能性を実感しました。また、過去にとらわれず未来の実現のために、単純に何をすべきかという原点への回帰という意味でも刺激をもらいました。

情報システム委員会では、情報発信という点では、様々なツールや手法があり、一方で受取手も環境により使うツールも多様化しています。また、扱う情報量は、時代やツールなどの技術の進化により、膨大になり、以下に効果的にその情報を扱い、整理し、発信していくかは、これからも大きな課題です。しかし、これを解決できれば、新しい絆が生まれ、これまでにないコミュニティの創出になることと思います。様々なトライをした1年がその1歩につながると信じます。

この1年間、ご協力をいただきました会員の皆様ありがとうございました。これからの各会員の想定外の未来につながることを祈念します。

そして、今年は商工会議所、商工会、青年会議所、DMOの5団体による連携がより深まった年でもありました。安心なまちやつしろプロジェクトに代表される官民一体となった活動が確実な実績となり、今後もより実効的集まりとなると思います。そのためには、八代経済開発同友会自体も、より夢のある、そして実現可能な発想を、独自の視点で生み出し続けなければいけません。来年度は60周年の記念すべき年でもあります。60周年に向けて、さらに想定外の未来の夢を語りましょう。

# 事業報告

## 10月例会

令和4年10月29日にホワイトパレスにて10月例会を開催しました。

8月、9月とやつしろ高校生未来会議を開催し、今例会にて地域課題解決の方策について各校から発表をいただきました。当日は同友会会員以外にも、八代市の方々、各校の先生方、PTA役員様、テレビやつしろ様、エフエムやつしろ様と多くの方にお越しいただきました今回の会議の内容をどのように実際の取り組みにつなげていくのか、このような形で高校生たちの探求や発表に触れる機会をどのようにして継続、発展させていけるか、そのこと自体が地域の柔軟性や活力につながると感じた例会でした。



## 12月例会

令和4年7月12日にグランドホテルにて12月例会を開催しました。

衆議院議員の金子恭之様に「日本経済と今後の地域経済の発展」についてご講演いただきました。貴重な国政のお話を聞くことができ、地域の可能性やそこに住む私たちがやるべきことを考える良き機会となりました。

また、例会後は忘年会を行い会員同士で懇親を深めることができました。



## 11月定時総会

令和4年11月28日にホワイトパレスにて11月定時総会を開催しました。令和5年度代表幹事選出の件が承認され第60代代表幹事に村田眞一郎氏が選出されました。次年度および60周年に向けて会員一同一致団結していけるよう事務局として取り組んでいきます。今後とも、よろしく願いいたします。



## 1月臨時総会

令和5年1月18日にホワイトパレスにて1月臨時総会を開催しました。令和5年度組織図の件、令和5年度役員選出の件が承認されました。新役員の方々から意気込みを発表していただきました。その後、60周年について吉武卓哉実行委員長より60周年事業についての意気込みと、方針を発表頂きました。総会後の次年度役員を囲む会では会員同士で親睦を深めることができました。





## 2月例会

令和5年2月25日に八代グランドホテルにて2月例会を開催しました。木村副知事を講師としてお招きし、「八代の未来は熊本の未来」についてお話しいただきました。TSMCの進出に伴う周辺の道路事情及びSDGs、関係人口、DXフードバレー構想等、八代市及び県南振興についての興味深い内容でした。当日は、同友会会員以外の方々にお越しいただき、多くの意見交換をすることができました。



## 3月例会

令和5年3月23日にホワイトパレスにて3月例会を開催しました。

八代市中村市長、県南広域本部田村本部長、商工会議所竹永会頭、八代青年会議所高見理事長、村田代表幹事による、県・市行政と民間でのパネルディスカッションを行いました。

田邊副代表幹事がコーディネーターを務め、人口減少問題に対してのディスカッションが進められました。人口減少問題にスポットを当てることで改めて問題意識の醸成を行うことができました。



## 60周年のご挨拶

# 60周年実行委員長決定！



60周年実行委員長

吉 武 卓 哉

1962年（昭和37年）八代地域開発研究会と八代市産業開発研究会が一つになり1963年（昭和38年）八代経済同友会が、設立いたしました。

私達の諸先輩方が、いつの時代も未来に強い思いと情熱を持ち続け、大好きな八代のために同友会運動を展開されてこられたことに対しまして、心より敬意を表します。

この60年間、我が国を取り巻く環境は、内外ともに大きく変化を遂げて激動の時代でありました。

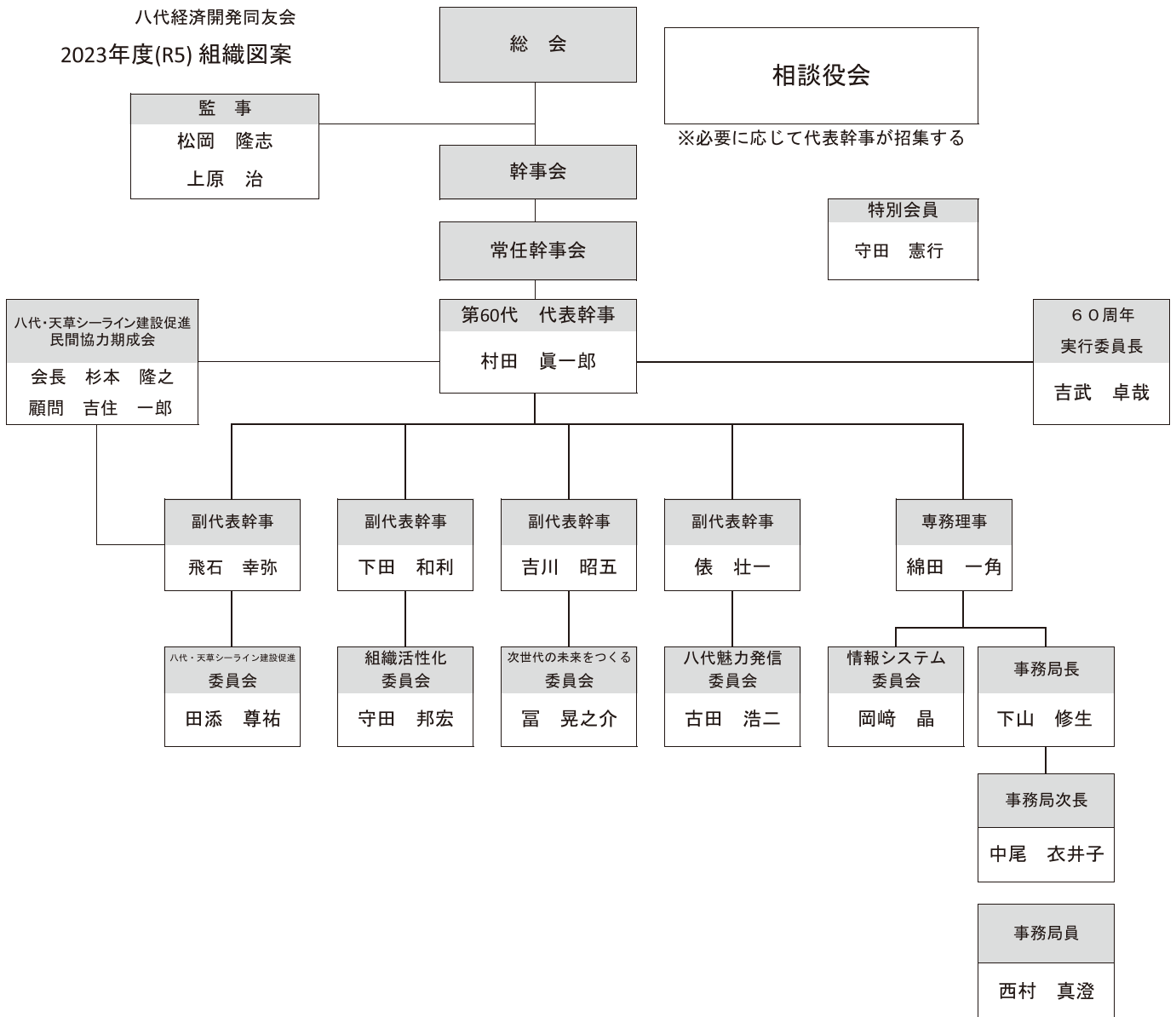
そのような中で、八代・天草架橋（現在：八代・天草シーライン）の実現に向けた講演会やパネルディスカッション、高校生サッカー大会、現在も継続しています高校生選抜バ

トミントン大会等、様々な事業を展開してまいりました。本会メンバー同士で時代のニーズをとらえた観点から知恵を出し合い、未来に向けた発想を具現化し、行動を起こしていく必要があります。

令和5年度、本会は60年という節目を迎えるにあたり、今一度自らの足跡を見つめ直し、これまでの運動展開をレベルアップさせて、本会理念に基づき刻々と変化する新しい時代の中でも、揺らぐことのない思いを胸に、幸福感のある企業と活力ある地域づくりに貢献していける60周年事業を行ってまいります。メンバーの皆さんのご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

# 2023年度(R5) 組織図

八代経済開発同友会  
2023年度(R5) 組織図案



実現させよう!

# 八代・天草シーライン

八代 ◀車で10分▶ 天草 8.8km

私たちは、八代・天草を結ぶ橋(八代天草シーライン)の早期建設を求めます!

